

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年3月1日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 亘、矢島、三ッ森、高木、田村、恩田、福田、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、山田、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	8	2		13人

前回の改善計画
 利用開始前に口頭や連絡ノートで情報を送り、見たらサインする。情報が不十分なことは前提なので、関わりながら新しい情報を得ていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送っている。初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送っている。見たら職員はサインしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	10	1		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	3		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	8			13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	3	6		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 1、連絡ノートなどで全員が事前情報を確認できるようになっている。情報を共有し必要な声かけを行いながら支援できている。基本情報、サマリー、会議、ミーティングから情報を得る。ケアマネ、管理者に不明点を聞いている。状態やニーズなどは利用開始前から聞いてイメージ作りを行っている。来所前に脳内シミュレーションしている。
 2、家族の話聞いて計画を立てている。
 3、4、新規の方へ声かけ。本人の思いを大切に、慣れるまでは訪問を行い、職員との信頼関係の構築に努めている。利用者や家族の思いを尊重して関わっている。直接電話で訴える人の話は受け止めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 1、連絡ノートの見落としがある。新しい利用者に対して、その日に出勤していないと把握するのに時間がかかってしまう。
 2、必要な支援の見直し、ニーズを把握することはできていない。必要としている支援にはつなげられていないものがある。拒否などがあるため。
 4、家族と接触がない方などは状況把握が難しい。家族の不安を受け止め関係作りの配慮ができていない。信頼関係を築けていない。実際家族と会って話をするのはあまりない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 新規利用者の個人データを提示し事前に職員に情報を送り、初期支援に関しては、利用開始前に口頭や連絡ノートなどで情報を送り、見たらサインするシステムを継続する。情報が不十分なことは前提なので関わりながら新しい情報を得ていく。関わった職員は情報を入力する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 3月 1日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 亘、矢島、三ッ森、高木、田村、恩田、福田、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、山田、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	5		11人

前回の改善計画
本人の目標、～したいがわからない利用者がある。～したいのかかわりが毎日できていない。ケアポイントに添った支援を行う。各担当利用者に対する支援策を職員会議で話し合う。

前回の改善計画に対する取組み結果
日頃のかかわりから本人の「〇〇したい」を聞き出し記録して共有している。ケアポイントを本人の状態に合わせて変更し実現可能なものにしていく。ケアポイントの評価を職員会議で発表している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		8	5		13
⑥	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	6		12
⑦	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8	4	1	13
⑧	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		9	3	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人家族の思い、希望を反映したケアプランを作成している。利用開始後1ヶ月間観察を行いケアプランに基づいたケアポイントを作成している。
利用者のケアポイントに添ったケアや介護サービスをしている。
〇〇したいを本人から聞きだし記録で共有している。
会議で話し合い〇〇したいについて希望を叶えようと支援できた。
ケアポイントに添って支援した内容はタブレットに記入し共有している。
ケアポイントの評価について職員会議で発表している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
状態が変わった時にケアポイントがあてられていないことがある。
当面の目標に関わっているが体調などもあり、日々のかかわりができないことがある。
毎回できているかと言われたらできない日もあった。
ゴールと当面の目標を理解していない。
個別支援が少ない。
会議であまり発言していない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
状態が変わった時にケアポイントを状態に合うように見直す。(〇〇したいにつながるように)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 3 月 1 日

3. 日常生活の支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、高木、田村、恩田、福田、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、山田、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	5		12 人

前回の改善計画	利用者の気持ち、プライドに適した言葉での声かけができず不快な思いをさせてしまうことがある。本人の好きなこと嫌いなことを十分意識せずにかかわっている。 →日頃のかかわりから好きなこと嫌いなことをさらに新しい情報を得て職員間で共有し支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	日頃のかかわりから「好きなこと嫌いなこと」を職員間で共有し支援につなげた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	6	4	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	9			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	4	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	9			13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	2		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
0、不快な気持ちにさせたことはないと思う。 2、基礎的な介護はできている。 3、日々の関わりからその人の性格や状態を把握し職員間で共有しようとしている。 4、本人の体調に気づきバイタル確認し報告できている。朝のミーティング、会議などで情報共有しコロナ禍と言うこともあり体調面などは特に気を付けていた。 5、入浴食事排泄など本人の状況に合わせて支援を変えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1、ある程度理解できているが10個以上は良くわからない。訪問などで家族と話せる利用者は限られている。 3、本人の声にならない声をチームで言語化できていない。声にならない声を職員の思い込みで言語化している。目に見えていない気持ちや元々の性格などの把握をしていない。 言葉にできないことをくみ取ることができていない。 4、5、体調の変化にあまり気づけなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
日頃のかかわりから好きなこと嫌いなことのさらに新しい情報を得て、職員間で共有し支援につなげる。利用者の気持ち、プライドを配慮した声かけや支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 3 月 1 日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、高木、田村、恩田、福田、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、山田、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7	5		12 人

前回の改善計画	地域との関係は人それぞれの事情もあり難しい。家族が地域とのかかわりを希望していない。 →今ある地域資源の有効性を見直し、連携を継続していく。家族より、自宅での過ごし方を聞いたら職員間で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者によっては必要度が異なる。必要度の高い利用者に対しては、連携できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	6		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	5	3	13
②	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	3	4	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	3	7	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>1、生活スタイル人間関係はアセスメントで情報を得ている。利用者とのコミュニケーションから情報を得ている。</p> <p>2、地域の資源との関係が切れないように支援した。</p> <p>3、利用しない日の翌日、どう過ごしたが聞くようにしている。送迎時に家族に情報交換している。連絡帳でのやり取りができている。家族に会ったら家での様子を聞くようにしている。有用な情報は職員間で共有している。情報交換を密に行い、日々の支援につなげている。</p> <p>一人暮らしでの不安を抱えやすい方については、電話で日々の様子を確認している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>1、生活スタイル、人間関係まで把握していない。理解できているのはごく少数。担当職員でないため把握するのは難しい。本人のバックグラウンドを知ることができていない。</p> <p>4、民生委員、資源の把握ができていない。民生委員とのかかわりが少ない。本人に必要な支援を把握していない。地域との関係維持ができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域連携が必要な利用者を見極め、必要時は重点的に支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 3 月 1 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 亘、矢島、三ッ森、高木、田村、恩田、福田、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、山田、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	5	4	2	12 人

前回の改善計画	「訪問」があまりできていない。「通い」「宿泊」が中心となっている。 →訪問を引き続き増やしニーズに則した支援をしていく。コロナが収束したら、地域のイベントにも参加することを試みる。
前回の改善計画に対する取組み結果	令和2年より月200回以上の訪問となったので訪問体制強化加算を算定できるようになり、継続中。訪問が増えてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	7	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	8	2		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	7	2		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	7			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>2、ニーズに合わせたサービスを提供。</p> <p>3、タブレット、連絡帳、会議、ミーティングなどで情報を共有して柔軟に支援している。家族の要望があれば対応し、バイタルチェックで体調確認している。</p> <p>4、何かあるたびに柔軟に訪問を行っている。必要な方に対しては、訪問回数を増やす取り組みができている。急きょ通いが休みになった方に対しては、訪問に切り替える柔軟な対応ができている。</p> <p>利用者の状況に合わせて訪問している。予定外の訪問も行っている。訪問内容をリーダーに報告、タブレット記入で情報共有している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>1、地域資源の活用</p> <p>2、訪問が少ない。通いが多い</p> <p>3、利用者の気持ちにそえないことがある</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
訪問を引き続き増やしニーズに即した支援をしていく。必要な利用者には重点的に訪問支援をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 3 月 1 日

6. 連携・協働

メンバー 亘、矢島、三ッ森、高木、田村、恩田、福田、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、山田、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2	9		1	12人

前回の改善計画
 かかわる職員に限られているため、他の職員が取り組みを理解していない。
 →職員会議やタブレット入力にて引き続き取り組みの発表、報告を継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 職員会議やタブレット入力にて取り組みの発表、報告を継続している。連携・協働などは職員に関心を持ってもらえるように会議・連絡ノートを通じて報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		6	2	4	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2	3	7	12
②	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2	2	8	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	2	9	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 1、他のサービス機関との関わりについては、タブレットで確認できる。担当者会議で福祉用具担当の参加がある。
 4、爪切りボランティア

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 1、情報交換ができていない。タブレットの入力では伝えられないものがある。関わっているのは一部の職員だけである。
 2、地域の会議はできていない。
 3、地域の活動、イベント参加はできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 会議の内容をタブレットの記録に入力し、職員間で情報を共有する。職員会議でも発表していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 3 月 1 日

7. 運営

メンバー 亘、矢島、三ッ森、高木、田村、恩田、福田、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、山田、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		1	7	5	13 人

前回の改善計画	地域と協働した取り組みができていない。職員同士の会話が多い。 →運営推進会議や利用者家族からの意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。私語を少なくして利用者中心の会話をするを継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議で情報を交換している。苦情処理シートを回覧し共有している。利用者中心の会話が昨年度よりも増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	6	2	14
③	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	2		14
④	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	1	4	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	4	4	5	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
0、職員同士の会話を避け利用者とのコミュニケーションやレクを行っている。利用者中心の会話をする事ができている。 1、事業所のあり方については面談の際伝えることができる。 2、苦情にはすぐに対応している。苦情には真摯に向き合い早めの解決に努めている。苦情は利用者家族からの意見は苦情処理を行い、会議などで話し合っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
2、3、苦情への対応が、一定の職員を関わらせないとやる対策しか取れないのが現状を残念に思う。 4、地域と協働した取り組みができていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
提案や意見を職員会議などで自由に発言できる雰囲気作り。 私語を少なくし利用者中心の会話をするを継続していく。 意見、苦情などを職員間で共有し改善につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 3 月 1 日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 亘、矢島、三ッ森、高木、田村、恩田、福田、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、山田、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	10			13人

前回の改善計画	事故が多い。(目配り・気配りが足りない) →事故発生時は、事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。転倒リスクの高い利用者については、朝のミーティングで情報共有して意識付けしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議での事故報告を各担当者がする。再発防止対策を検討し、連絡ノート、タブレットで共有する。ミーティング時注意喚起し意識付けを行う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	4	2	4	13
⑤	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	3	5	13
⑥	地域連絡会に参加していますか			2	9	11
⑤	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	1	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>1、職員会議で勉強会を行っている。研修などで得たこと、資格取得時に得たことを行動に起こしどうしたらいいかと思う時は他の職員に聞く。</p> <p>4、事故報告書を回覧し合わせて職員会議で報告することでリスクマネジメントにつなげている。事故を起こさないよう細やかな対応を心がけている。送迎時利用者を同乗しているので特に気を付けている。転倒リスクの高い利用者は席から立ち上がった時から注意する。ミーティング時転倒リスクの高い利用者の情報を共有している。ミーティングで利用者の状態を共有している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>0、4、新たなリスクを意識しながら目配り気配りが足りない</p> <p>2、3、地域連絡会への参加 研修、スキルアップ、資格取得に参加する機会がない</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>事故発生時は、事故報告書をもとにリスクについて検討し再発を防いでいく。</p> <p>体調などいつもと変わった様子が事故の要因になりうることを予測して情報共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 3 月 1 日

9. 人権・プライバシー

メンバー 亘、矢島、三ッ森、高木、田村、恩田、福田、樋口、小井田、藤森、斉藤、江原、山田、栗原、岩下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	6	2		11人

前回の改善計画	職員の声が大きくて聞こえてしまうのか、利用者が他の利用者の情報を知っていることがある。成年後見人制度の対象者がいないので、必要とする利用者がわからない。 →職員の声の大きさ、トーン、話す距離についても配慮する。遠くから叫ぶのではなく、近づいて利用者の視界に入り、穏やかに声をかける。成年後見人制度の対象者がいれば学習の場を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員の声のトーンが大きくなならないよう注意を喚起し、以前よりは意識できている。声のかけ方、話す距離も、以前よりは意識できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11	2			13
②	虐待は行われていない	12	1			13
③	プライバシーが守られている	5	5	2		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2		2	7	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	5	2		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>1、2、身体拘束、虐待はしていない。玄関の鍵はかけていない。</p> <p>0、3、入浴やトイレなどの支援ではプライバシーに配慮した対応ができている。</p> <p>声の大きさ、トーン、話す距離に配慮し他の利用者のことも考えて近づいて穏やかに声かけすることを心がけている。利用者にとって聞かれたくないようなことは話題にしない。ユマニチュードを理解している。様々な場面での穏やかな声かけができている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>3、0、フロアの監視ができていない</p> <p>大きな声で話してしまう。利用者に近づいて話していない。職員の勉強不足。</p> <p>4、必要とする対象者がいない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>成年後見人制度が必要な利用者がいれば学習の場を設ける（現在は対象者はいない）。</p> <p>職員の声の大きさ、トーン、話す距離に引き続き配慮する（特に排泄のことを話す時）。引き続き注意を喚起していく。</p>	